

会長：半田 稔 幹事：五十嵐 信

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持  
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：西谷 真一 S.A.A.
- ◆会場：大沼デパート



## ロータリー： 変化をもたらす

第2797回例会 平成30年1月22日(月)



## 会長挨拶

半田 稔 会長



### 弁護士の職業奉仕

今日は、中学高校の同級生、黒江哲朗君を卓話の講師に迎えることができました。貴重なお話をお伺いできるものと期待しております。

さて、今月は職業奉仕月間です。職業奉仕は分かりにくいと言われますが、自分の仕事で、世のため、人のためになることをする、というのが職業奉仕です。

たとえば、床屋さんが老人ホームや刑務所を訪問して無料で散髪をしてあげる。これは職業奉仕でしょうか？そうではありません。職業上の専門技術を生かしてはいますが、社会奉仕です。正当な料金をもらって散髪をして、お客さんから「いい髪型に仕上がった、ありがとう」と言われる、これが職業奉仕です。

弁護士の職業奉仕について考えてみました。3本の柱があると考えています。まず、依頼者のために誠心誠意仕事をするという誠実義務、弁護士の品位を保つという品位保持義務、そして、公的な立場から真実を尊重しなければならないという真実義務です。このうち、誠実義務と真実義務について、依頼者が言っていることが真実だと信じて弁護活動を行う限りは問題ありません。これらが対立するときに弁護士は悩みます。

刑事事件の犯人から、「実はやったんだけど、証拠が弱いから裁判は無罪で頼みます」と言われたらどうするか？逆に「実はやっていないんだけど、自分がやったことにしてください」と言われたらどうするか？結論としては、いずれも依頼者の希望どおりに弁護すべし、です。ただ、嘘の証拠を正しいと偽って提出したり、証人に嘘をつくよう仕向けたりしてはいけません。真実義務に反しない限度で誠実義務を優先すべしということです。

ところが小説やテレビドラマでは、真実義務を守る弁護士がいい弁護士とされるようです。たとえば、殺人事件の被告人が本当のことを言わないので有罪になりそうになる、そこで弁護士が調査して、被告人が犯行時刻に別の悪いことをしていたとか、過去に悪いことをしてその被害者にはめられた、ということに気づくわけです。ところがそのことを、被告人に相談することもなく、法廷で突然明らかにするのです。結果、被告人は無罪になりめでたしめでたし、弁護士は英雄扱いです。

しかし、実際はそんなことはできません。依頼者が裁判で不利になるのを覚悟で秘密にしていたことを勝手に暴露するのは、明らかに誠実義務に反します。弁護士会から懲戒処分を受けるのは確実、資格停止も十分ありえます。刑法の秘密漏

泄罪で処罰される可能性もあります。弁護士として仕事ができなくなることを覚悟して、正義のために真実を明らかにした、という話ならわかるのですが…。

## 幹事報告

五十嵐 信 幹事

- 新入会の岡崎重知さんは昭和33年生まれで、高見屋旅館の専務さんです。前会員の岡崎治彌会員は、おじさんに当たります。会長よりロータリー会員の一式をお渡しします。
- 12月に退会なさった豊田義一さんは、理事会で名誉会員とすることが決定しました。
- 東海林健登理事のお父様が亡くなりまして、水曜日に葬儀が行われます。香典につきましては、事務局までお願い致します。

## ニコニコBOX

半田 稔 会長／①新年スタートしました。よろしくお祈りします。②先週の新年会の運営に当たり、親睦・家族委員会の皆様に感謝します。③中学・高校の同級生である黒江哲朗君を講師に迎えることができました。

五十嵐 信さん／中学・高校の先輩の黒江前事務次官において頂き光栄です。ずうっと楽しみにしていました。

親睦・家族委員会 一同／1月15日の新年会は会員皆様のお陰で楽しい時間を過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。次回観桜会も宜しくお祈り致します。

佐藤茂雄さん／2男に39才で初の女の子が生まれました。男だともっと良かったんですが？

三沢大介さん／次男がこの度J1鹿島アントラーズのジュニアユースに合格し、小学校の卒業を待たず、母親と共に鹿島に引越していきました。テレビや新聞でも取り上げていただき、多方面よりお声がけいただいて感謝しております。親として陰ながら応援していければと思っております。

澤渡 章さん／当クラブの皆様にご愛顧いただきました、山形美味しいもの研究所素仁庵を、1月31日にて修了とさせていただきますことになりました。今後は料亭のお料理を更に磨いてまいります。つきまして、近年だいぶ欠席してきました例会ですが、今後はずっと出席しますので、可愛がって下さい。

市村清勝さん／岡崎重知さんが入会されると聞いてワクワクしておりました。友人が増える事はとても嬉しいことです。健康に留意して、皆出席されるようお祈りしております。

## ゲスト卓話



内閣官房国家安全保障参与  
黒江 哲郎氏

### 北朝鮮の軍事力

我が国安全保障上の課題ということで、今日は北朝鮮の問題を中心にお話をさせていただこうと思います。お手元にお配りしました資料に沿って、北朝鮮問題とはどういうことなのかをお話したいと思います。北朝鮮に関する安全保障の課題といえますと、軍事的な側面、外交的な側面、あるいはその政治経済的な側面とさまざまございます。40年近く防衛省に勤務しておりましたので、主として軍事的な側面を中心に、ご説明申し上げたいと思います。

南北の兵力比較という表を見ていただきますと、北朝鮮の兵隊さんは120万人近くいます。韓国、あるいは在韓米軍と比べると倍ぐらいになるわけです。これだけを見ると北のほうが強いようですが、北では戦車や艦艇、作戦機等々は旧式のものなので、通常兵力では南が圧倒的に強いのです。金正恩をはじめとする金王朝歴代の人たちは、工業力では南にどんどん差をつけられ、装備品がどんどん古くなっていくわけです。しかし新しいものに買い替える経済力もないので、兵力だけ揃っているというのが今の北朝鮮の姿なわけです。それで彼らが考えておられますのが、核・ミサイル、もう1つが特殊作戦能力ということです。特殊作戦能力とは軍隊です、戦闘能力を極限まで高めて、一対多でも戦闘ができるという能力を持たせる部隊です。非常に厳しい訓練をして、どんな環境の中でも行動できるようにしています。

### 核・ミサイルの費用対効果

北が非常に力を入れて我々にとって脅威なのが、核・ミサイルの開発であります。仮に120万人の兵力が、ピカピカの装備品を揃えて、ピカピカの状態を維持していくためには、整備や修理にもお金がかかる。それに比べて何発かの核・ミサイルを持つと極めて安上がり、相手や周りの国に対して脅威を与えることができる。もし、アメリカや韓国から攻められることを想定して、費用対効果的に抑えられると考え、開発を進めているのです。本来であれば、軍隊に対する多額の費用を投入しないといけないのに、核・ミサイル持つことで、浮いたお金を経済発展に結び付けようというのが、彼らの「並進路線」であります。

北は我々の対話の相手はアメリカだと言っております。核保有国に対してアメリカが戦争を仕掛けた例ということはない、だから我々は核を持たなければならないと言っております。北朝鮮という国の政治形態等々からすると、非常に問題の多い国ではあります、軍事面で見るとかなり合理的な選択をしていると思います。

### ICBMの防衛

最近、アメリカが脅威と感じているミサイルは、5500キロ以上飛翔できる大陸間弾道弾（ICBM）やKN-08、14があります。日本ではスカッドER、あるいはノドンの改良型が飛んできたり、核の起爆装置の小型化に成功するなどの動向を防衛省としては非常に気にしております。日本は北朝鮮がミサイルの実験をするたびに、非難するわけですが、万が一その実験が失敗したときでも、他国の国土にできるだけ影響を与えないようにおそらく配慮しているのです。

北朝鮮の「長射程化」「飽和攻撃のために必要な正確性及び運用能力の向上」「奇襲的な攻撃能力の向上」「発射形態の多様化」、最近では潜水艦発射型ミサイル開発なども進んでおり、我々は危機感を持っております。核実験はこれまで6回行ってあります。どのくらいの威力を持っていて、小型化がどのくらい進んでいるのか。核兵器保有国は、最初の原爆実験から水爆実験の成功、あるいはその小型化の成功に至るまでに要した期間というのは、だいたい5年~10年と言われているので、北朝鮮では2006年に初めて行ってありますので、能力は充分にあると見たほうが正しいと思います。

アメリカは非常に厳しい制裁、軍事力行使も辞さないと見せながら、圧力をかけると。それに対して、中国とロシアとは若干違った対応をしている状況ですが、何とか国連の場を中心に、国際的な圧力をかけていこうとしております。

平昌オリンピックを成功させようと、ほほえみ外交的なところを見せておりますが、日本政府の中では対話が進んでいくと思っている人は1人もいないと思います。ではどうすればいいのか、主として軍事的な面から申し上げると、北朝鮮から弾道ミサイルが発射されると、宇宙空間にある米軍の早期警戒衛星が炎を感知します。それを瞬時に日本に影響を与えるものなのかどうかを判断して、1分くらいで日本側に通達してくれます。それを受けて航空自衛隊の警戒管制レーダーが日本の領域内に落ちると判断したならば、ためらいなくイージス艦のミサイル、あるいはイージス艦が撃ち漏らしたら、ペトリオットPAC-3で撃ち落とすという2段階のシステムになっております。

しかし、北朝鮮も能力向上しており、既にこのシステムが古くなっておりまして、24時間365日警戒するためには、イージス・アショアという陸上配備型のミサイルシステムのほうが優れているという考え方で、来年度予算化して整備をしていくことになっていきます。これが今の状況です。

## 委員会報告

### 親睦・家族委員会 安部 弘行 副委員長

会員12名、奥様12名が1月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

### ロータリー財団委員会 長澤 裕二 委員長

皆さま1人100ドルということをお願いしてまいりましたが、去年末日までの達成度27%という低さととどまっております。今年 목표は100%です。よろしくお祈りします。

### <本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (1/22)	101名	57名	修正出席 (12/25)	100名	89名	86名	96.63%
メイクアップされた会員	(山形) 山賀 賢司、晋道 純一、風間 義朗、橋本 徳光、石井 雅浩、伊藤 義彦、橋本 慶昭						